

全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.174 2017年7月7日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：小林 光俊

編集人：菊田 薫

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25

私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



全専各連第66回定例総会、第125回理事会を開催

「専門職大学」及び「専門職短期大学」審議状況について説明

6月21日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全専各連第66回定例総会・第125回理事会が開催された。出席者は委任状を含めて143名。多忠貴総務委員の司会により開会。吉田松雄副会長の開式の言葉に続き、小林光俊会長があいさつを述べた。次に、来賓として塩谷立衆議院議員・専修学校等振興議員連盟会長、山谷えり子参議院議員・同副会長があいさつを述べた後、公務により退席。続いて文部科学省萬谷宏之生涯学習推進課長があいさつを述べた後、公務により退席。次に、文部科学省白鳥綱重専修学校教育振興室長からあいさつを兼ねて「平成29年度専修学校関係予算」「職業実践専門課程」「学校教育法の一部を改正する法律の概要」など配布資料に沿って行政報告を行った。

文科省退席の後、議長団には、常任理事会の推薦候補者である河原成紀理事を議長、清水信一常任理事を副議長に

選出。議長が会議の有効な成立を確認した後、議事録署名人に千葉茂常任理事と関谷豊常任理事を選任し、提出議案の審議に入った。

【第1号議案 平成28年度事業報告（審議事項）】

事務局から会議開催状況、委員会活動等について報告。

【第2号議案 平成28年度決算報告ならびに監査報告（審議事項）】

八文字典昭常任理事・財務委員長が配布資料に基づき、収支計算書の各科目の詳細、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等について説明。続いて戸早秀暢監事が全て適正との監査報告を行った。

第1号議案、第2号議案は一括で審議され、特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。

小憩後、赤池誠章参議院議員・専修学校等振興議員連盟



開会あいさつを述べる小林光俊全専各連会長



来賓あいさつを述べる塩谷立衆議院議員・専修学校等振興議員連盟会長



来賓あいさつを述べる山谷えり子参議院議員・専修学校等振興議員連盟副会長



来賓あいさつを述べる赤池誠章参議院議員・専修学校等振興議員連盟事務局次長

事務局次長が来賓あいさつを述べた後、公務により退席。その後議事を再開した。

【第3号議案 平成29年度事業計画案（審議事項）】

関口正雄常任理事・総務委員長が運動方針策定のポイントについて、事務局から会議の開催、各委員会活動方針、広報活動の一層の推進等について説明。

【第4号議案 平成29年度収支予算案（審議事項）】

八文字常任理事・財務委員長が、配布資料に基づき、各科目の詳細について説明を行った。

【第5号議案 平成29年度第1次補正予算案（審議事項）】

八文字常任理事・財務委員長が配布資料に基づき、平成

28年度の決算額確定を受けた、補正後の予算額について説明した。第3号議案、第4号議案、第5号議案は一括で審議され、特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。

続いて岡本比呂志副会長から「専門職大学」及び「専門職短期大学」の審議状況について説明。

最後に報告事項として、事務局から組織委員会答申「今後の課程別設置者別部会の在り方について」を説明。

以上により、議長が全ての議事の終了を確認し、福田益和副会長が閉式の言葉を述べ、総会を終了した。

総会終了後、懇親会が開催され、盛会のうちに全日程を終了した。

「学校教育法の一部を改正する法律(改正法)」の成立等

昨年5月の文部科学省中央教育審議会（中教審）答申の第一部「社会・経済の変化に伴う人材需要に即応した質の高い専門職業人養成のための新たな高等教育機関の制度化について」で提言された『専門職大学及び専門職短期大学』（専門職大学等）について、制度化を定める「学校教育法の一部を改正する法律（改正法）」（本年3月10日閣議決定）が、5月11日に衆議院本会議で可決（文部科学委員会の附帯決議含む）、24日に参議院本会議で可決（文教科学委員会の附帯決議含む）され、成立した。施行日は平成31年4月1日。

専門職大学等は、中教審答申のとおり、大学制度に位置付けられ、専門職業人の養成を目的とする新たな高等教育機関で、大学制度へ位置付けられる教育機関は短期大学以来55年ぶりとなる。なお、法制度の概要及び設置基準等で具体的な制度設計を予定する概要は次のとおり。

【目的等】①機関の目的：深く専門の学芸を教授研究し、専門職を担うための実践的かつ応用的な能力を育成・展開すること（実習等の強化、実務家教員の積極的任用）／②学位の授与：課程修了者には文部科学大臣が定める学位を授与（「学士（専門職）」又は「短期大学士（専門職）」）

【社会のニーズへの即応】①産業界等との連携：文部科学

大臣の定めるところにより、専門性が求められる職業に関連する事業を行う者等の協力を得て、教育課程を編成・実施及び教員の資質向上を図る（産業界等と連携した教育課程の開発・編成・実施のための体制整備）／②認証評価における分野別評価等：認証評価においては専門分野の特性に応じた評価を受ける（産業界等と連携した認証評価の体制整備、評価に基づく厳格な公的資金の配分）

【社会人が学びやすい仕組み】①前期・後期の課程区分：専門職大学（4年制）の課程は前期（2年又は3年）及び後期（2年又は1年）に区分可／②修業年限の通算：実務経験を有する者が入学する場合、文部科学大臣の定めにより、当該実務経験を通じた能力の修得を勘案し、一定期間を修業年限に通算可（その他科目履修、長期履修等の柔軟な履修形態による社会人が学びやすい環境の整備）

改正法の成立を受けて、文部科学大臣は中教審へ諮問を行い、大学分科会に「専門職大学等の制度設計に関する作業チーム」を設置、平成31年4月1日の開学に向けて具体的な制度設計（設置基準）等を審議するとともに、審議の過程でパブリックコメントを実施し、広く意見を募ることとしている。

文部科学省 人事異動

文部科学省において、以下のとおり人事異動がありました。（ ）内は前任者。敬称略。

4月1日付 ○専修学校教育振興室専門官 宮本 二郎（牧野 浩司）○専修学校第二係長 田口 大介（葛城 昌弘）○専修学校教育振興室専門職 吉田 尊徳（田口 大介）○専修学校教育振興室係員 柴田 浩希（土井 昭穂）○専修学校教育振興室係員 吉田 慶太（伊藤 瑠美）

都道府県協会等代表者交代等

＜都道府県協会等代表者交代＞一般社団法人茨城県専修学校各種学校連合会 八文字 典昭 氏
一般社団法人群馬県専修学校各種学校連合会 鈴木 良幸 氏
一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会 青池 浩生 氏
公益社団法人静岡県職業教育振興会 杉山 誠一 氏

一般社団法人京都府専修学校各種学校協会 田中
誠二 氏
〈住所等変更〉一般社団法人福井県専修学校各種

学校連合会（変更後）福井市春日3-303福井県
工業技術センター建設技術研究所

心よりお祝い申し上げます 春の叙勲・褒章の受章者

平成29年度春の叙勲・褒章が次の方々にご贈られました。
長年の努力と功績が認められた関係者のご芳名を掲載し、
心よりお祝い申し上げます。（敬称略）

*瑞宝中綬章

香川 芳子（東京都・香川調理製菓専門学校名誉校長）

*旭日小綬章

片柳 鴻（東京都・日本工学院専門学校理事長）

櫻井 康司（東京都・日本鍼灸理療専門学校理事長）

*瑞宝小綬章

滝上 島雄（宮城県・仙台幼児保育専門学校理事長）

齋藤 正典（山形県・酒田調理師専門学校校長）

*瑞宝双光章

中込 三郎（東京都・東洋美術学校理事長）

*瑞宝単光章

菅野 功一（福島県・今泉女子専門学校役員）

*藍綬褒章

村上 良一（香川県・高松高等予備校理事長）

全国学校法人立専門学校協会 平成29年度定例総会・理事会

6月22日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、
全国学校法人立専門学校協会平成29年度定例総会・理事会
を開催。出席者は総会が192名、理事会が61名（いずれも
委任状を含む）。田村栄司総務運営委員の司会により開会。
中西義裕副会長の開会の言葉に続き、小林光俊会長があい
さつを述べて、前日の全専各連総会について報告。

来賓あいさつとして、白鳥綱重文部科学省専修学校教育
振興室長が「平成29年度専修学校関係予算」職業実践専門
課程「学校教育法の一部を改正する法律案の概要」等の説
明を中心に行政報告を行い、続いて、大木高仁日本学生支
援機構理事が「日本学生支援機構の奨学金事業の現状と取
組」について説明した後、白鳥室長、大木理事は公務の為
退席。議長団には、常任理事会の推薦候補である植田威理
事を議長、多忠貴理事を副議長として選出。議長が会議の
有効な成立を確認した後、議事録署名人に清水裕常任理事
と坪内浩一常任理事を選出して議事に入った。

【第1号議案 平成28年度事業報告】

【第2号議案 平成28年度決算報告ならびに監査報告】

第1号議案、第2号議案について一括審議を行った。第
1号議案については、事務局から配布資料に基づき報告を
行った。第2号議案については、八文字典昭理事・財務委
員長が平成28年度収支における各科目の内容を報告し、続
いて坂本歩監事が全て適正との監査報告を行った。各議案
に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異議なくこれを
拍手承認。

【第3号議案 平成29年度事業計画案】

【第4号議案 平成29年度収支予算案】

第3号議案、第4号議案について一括審議を行った。第

3号議案については、配布資料に基づき、関口正雄理事・
総務運営委員長が運動方針を説明した後、事務局が会議の
開催、委員会活動方針（留学生委員会については、長谷川
恵一常任理事・留学生委員長から説明）、調査研究事業・
研修事業の実施、広報活動の推進、専門学校におけるスポ
ーツ振興について説明。続いて第4号議案については、八
文字典昭理事・財務委員長が予算編成方針及び各科目の内容を
説明。各議案に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異
議なくこれを拍手承認。続いて、岡本比呂志全専各連副会
長から「専門職大学」及び「専門職短期大学」審議状況に
ついて説明。最後に事務局から報告事項として、全専各連
組織委員会答申「今後の課程別設置者別部会の在り方につ
いて」を説明。以上により、議長が全ての議事の終了を確
認し、千葉茂副会長が閉会の言葉を述べ、総会の全日程を
終了。

全国高等専修学校協会 平成29年度定例総会・研修会

6月15日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、
全国高等専修学校協会の平成29年度定例総会が開催された。
出席者は委任状を含め99名。清水信一会長が開会あいさつ
を述べ、来賓として赤池誠章参議院議員、白鳥綱重文部科
学省専修学校教育振興室長があいさつを述べた。議長には
理事会の推薦候補者である久次米健一理事を選出。議長が
会議の有効な成立を確認した後、議事録署名人に細谷祥之
理事と長森修三理事を選出して議事に入った。

【第1号議案】平成28年度事業報告

【第2号議案】平成28年度決算報告ならびに監査報告

第1号議案、第2号議案について一括審議を行った。第
1号議案では事務局が配布資料に基づき、会議開催状況、
委員会活動について説明。第2号議案では、配布資料に基

づき、事務局が各科目の内容を説明し、高橋信一監事が全て適正であると監査報告を行った。両議案に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認した。

【第3号議案】平成29年度事業計画案

【第4号議案】平成29年度収支予算案

第3号議案、第4号議案について一括審議を行った。第3号議案については、配布資料に基づき清水会長が運動方針について説明し、関谷豊高等専修学校総務委員長、岡部隆男研修委員長、大岡豊制度改善研究委員長、谷誠体育振興委員長が委員会活動方針を説明した。第4号議案については、配布資料に基づき事務局が各科目の内容を説明した。

両議案に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認した。

定例総会終了後、管理者研修会が開催され、「独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付加入手続きについて」をテーマとして青木克好独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部給付第一課長と岡田桂子同給付第二課長補佐が配布資料に基づき説明、出席者と質疑応答を行った。続いてパネルディスカッション「これからの高等専修学校教育のあり方について」をテーマとして、パネラーに清水信一会長、大岡豊副会長、岩谷大介理事、コーディネーターに岡部隆男副会長が就任し、会場からの声も交えて協議が行われた。

全専各連課程別設置者別部会定例総会等を開催

○全国個人立専修学校協会



一般財団法人
職業教育・キャリア教育財団

情報検定 J 検 出願状況

2017年前期情報検定（J検）情報活用試験 ペーパー方式（平成29年6月18日実施）、ならびにCBT方式（平成29年4月1日～6月12日受付）の出願者数が次のとおりまとまった。

ペーパー方式	出願団体数	30団体
1級	477名	
2級	561名	
3級	1,148名	
CBT方式	出願団体数	29団体
1級	98名	
2級	437名	
3級	470名	

第21回定例総会・研修会 6月12日、東京都・アルカディア市ヶ谷：出席者は40名（委任状を含む。以下同）

○全国各種学校協会

第19回定例総会・研修会 6月13日、東京都・アルカディア市ヶ谷：出席者は82名

（詳細は全専各連ホームページ「広報全専各連」→プラスWEBよりご覧いただけます。

<http://www.zensenkaku.gr.jp/koho/>)

総会に先立ち全専各連常任理事会

6月21日、東京都・アルカディア市ヶ谷において全専各連常任理事会を開催した。

小林光俊会長が開会にあたりあいさつを行い、続いて会則第32条により小林会長が議長に就任し議事に入った。

審議事項として定例総会・理事会に提出する「第1号議案 平成28年度事業報告」、「第2号議案 平成28年度決算報告ならびに監査報告」、「第3号議案 平成29年度事業計画案」、「第4号議案 平成29年度収支予算案」、「第5号議案 平成29年度第1次補正予算案」の各提案事項について審議を行い、提案どおり定例総会・理事会に上程することとなった。続いて、岡本比呂志副会長から「専門職大学」及び「専門職短期大学」審議状況関連について報告が行われた。また、報告事項として組織委員会答申「今後の課程別設置者別部会の在り方について」について説明が行われた。最後に定例総会・理事会の議長候補者を選出し、定例総会への提出事項にかかる審議を終了した。

TCE財団だより

<http://www.sgec.or.jp>

J 検 <http://jken.sgec.or.jp/>

B 検 <http://bken.sgec.or.jp/>

合計 3,191名

ビジネス能力検定ジョブパス 出願状況

平成29年7月2日（日）文部科学省後援ビジネス能力検定ジョブパス前期試験の出願状況は次のとおり。

出願総数	11,363名
3級 出願者数	9,218名
2級 出願者数	2,145名

（通年実施のCBT方式は含みません）

TCE財団第124回理事会・第84回評議員会

3月17日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場としてTCE財団第124回理事会、第84回評議員会を開催した。理事会は出席理事12名、評議員会は出席評議員11名。福田益

和理事長が開会あいさつを述べた後、理事会では福田理事長が議長に就任。議事録署名人は議長及び監事。評議員会では長川泰次郎評議員を議長に、多忠貴評議員を議事録署名人に選出し審議に入った。

【第1号議案 平成28年度第2次補正予算（評議員会のみ議案）】

配布資料に基づき、岡部隆男財務担当常務理事が概要を説明。異議なく原案どおり承認。

【第2号議案 平成29年度事業計画】

配布資料に基づき、事務局が会議の開催、教員研修・研究、認定、表彰、評価・認証、検定、保険、出版・広報についての各事業計画を説明。異議なく原案どおり承認。

【第3号議案 平成29年度予算】

配布資料に基づき、岡部財務担当常務理事が概要を説明、事務局が詳細を説明。事業の活性化についての質疑応答が行われた後、福田理事長より「平成30年度の事業計画・事業予算についてはコンセンサスを得ながら平成30年度以降5年以内の中期計画を提出するようにしたい。」との提案がなされ、原案どおり承認。

【第4号議案 「職業キャリア教育（FACE）」利用契約について（理事会のみの議案）】

配布資料に基づき事務局が説明。文部科学省の補助金を得て開発した成果物販売の可否に関する質問が出されたが、福田理事長より問題はない旨の説明がなされ、全会一致で原案どおり承認。

【第5号議案 キャリア教育共済協同組合との業務委託契約について（理事会のみの議案）】

配布資料に基づき事務局が説明。特に異議なく全会一致で原案どおり承認。

以上により、全ての議案の審議、承認が確認され議事を終了した。

TCE財団第125回理事会・第85回評議員会

東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、TCE財団第125回理事会を6月7日に、第85回評議員会を6月30日に開催した。

理事会は出席者15名、評議員会は出席者12名を得て開会。福田益和理事長が開会あいさつを述べ、理事会では福田理事長が議長に就任。議事録署名人は議長及び監事。評議員会では堀口一秀評議員が議長、議事録署名人は清水裕評議員を選出し審議に入った。

【第1号議案 平成28年度事業報告】

配布資料に基づき、事務局が会議の開催、教員研修・研究、認定・表彰、評価・認証、検定、保険、出版・広報等、各事業の内容を説明。異議なく原案どおり拍手承認。

【第2号議案 平成28年度決算報告ならびに監査報告】

配布資料に基づき、岡部隆男財務担当常務理事が概要を説明した後、事務局が詳細を説明。理事会、評議員会ともに荒川栄一監事が監査報告を行い、異議なく原案どおり拍手承認。

【第3号議案 平成29年度第1次補正予算】

配布資料に基づき、岡部財務担当常務理事が説明。異議なく原案どおり拍手承認。

【第4号議案 評議員会の招集について（理事会のみの審議事項）】

配布資料に基づき、事務局が第85回評議員会の招集を説明。異議なく原案どおり拍手承認。

【第5号議案 平成29～33年度 事業推進・財政健全化5か年計画について（理事会のみの審議事項）】

配布資料に基づき、事務局が説明。理事からの意見をもとに、福田理事長より「随時検証と改訂を行いながら遂行していくこと、教科『職業とキャリア』については平成29年度末での事業終了と、それにとまなう諸課題については常務理事会において検討し対応していくこと」が提案され、特に異議なく全会一致で原案どおり承認。

以上により、議長が全ての議案の審議、承認を確認し議事を終了した。

平成29年度予定日程

<役員会・総会等>

●都道府県協会等代表者会議

平成29年11/24（金）

東京都・アルカディア市ヶ谷

●全専各連第126回理事会・全専協理事会合同会議

平成30年2/22（木）

東京都・アルカディア市ヶ谷

<平成29年度ブロック会議>

●中国ブロック会議

平成29年7/13（木）

山口県・湯田温泉ホテルニュータナカ

●近畿ブロック会議

平成29年7/21（金）

兵庫県・神戸メリケンパークオリエンタルホテル

●九州ブロック会議

平成29年7/27（木）・28（金）

鹿児島県・ホテルパレスイン鹿児島

●四国ブロック会議

平成29年8/4（金）

愛媛県・東京第一ホテル松山

●北関東信越ブロック会議

平成29年8/22（火）

茨城県・ホテルレイクビュー水戸

●中部ブロック会議

平成29年8/24(木)・25(金)

岐阜県・ホテルグランヴェール岐山

●北海道ブロック会議

平成29年9/15(金)・16(土)

北見市・ホテル黒部

●東北ブロック会議

平成29年10/13(金)

青森県・青森国際ホテル

●南関東ブロック会議

平成29年10/27(金)

千葉県・京成ホテルミラマール

< T C E 財団役員会 >

●第126回理事会

平成29年10/18(水)

東京都・アルカディア市ヶ谷

< 研修会 >

●中堅教員研修会

◇平成29年7/24(月)「リスクマネジメント」

◇平成29年8/1(火)・2(水)「新任指導力」

◇平成29年8/24(木)・25(金)「教育・指導力向上」

◇平成29年8/30(水)・31(木)「学校の経営」

◇平成29年9/27(水)～29(金)「教員のキャリアデザインワークショップ」

東京都・主婦会館プラザエフ(全日程共通)

●キャリア・サポーター養成講座

◇平成29年8/7(月)～9(水)

東京都・日本電子専門学校

◇平成29年8/21(月)～23(水)

福岡県・リファレンス駅東ビル

●「未来ノート」によるキャリア教育の考え方と進め方の研修会

◇平成29年8/25(金)

東京都・フォーラムエイト

◇平成29年9/1(金)

福岡県・リファレンス駅東ビル

< 検定試験 >

●文部科学省後援・情報検定(J検)

◇平成29年度前期試験

【情報システム】平成29年9/10(日)

◇同 後期試験

【情報活用試験】平成29年12/17(日)

【情報システム】平成30年2/11(日)

◇C B T 試験

【情報活用・情報システム・情報デザイン】

平成29年4/1(土)～平成30年3/25(日)

※情報デザインは、C B T方式のみで実施。

●文部科学省後援・ビジネス能力検定(B検)ジョブパス

◇同 後期試験

【2級・3級】平成29年12/3(日)

◇C B T 試験

【1級】平成29年9/9(土)～17(日)

平成30年2/3(土)～11(日)

【2級・3級】平成29年4/1(土)～平成30年3/25(日)

広報全専各連プラスWEB掲載記事

詳細は、全専各連ホームページ【広報全専各連】→プラスWEBよりご覧いただけます。

<http://www.zensenkaku.gr.jp/koho/index.html>

◆平成29年度事務担当者会議

◆課程別設置者別部会総会等

○全国個人立専修学校協会定例総会・研修会

○全国各種学校協会定例総会・研修会

◆平成28年度外国人留学生在籍状況調査

会員校の皆様へ

募集要項等に、3月31日までに入学辞退の意思表示をした者に授業料等を返還することを明記してあるか、不適切な記載がないかも併せ、改めてご確認ください。ご心配な点は都道府県所管課等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各連ホームページにてご覧いただけます。

日本政策金融公庫(国の教育ローン)「災害特例措置」のご案内

平成28年熊本地震、東日本大震災などにより被害を受けた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

日本政策金融公庫(国民生活事業)は、「国の教育ローン」につきまして、震災により被害を受けた皆さまに対して、貸付利率の引下げなどの「災害特例措置」を実施しています

お問い合わせは、**教育ローンコールセンター 0570-008656 (又は03-5321-8656)**



■情報検定(J検)は情報教育の柱となる「創る・使う・伝える」の三要素を網羅し、これからも学校教育を支援していきます。

<http://jken.sgec.or.jp/>

情報活用試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)
平成29年度後期

試験日 平成29年12月17日(日)

出願期間 手書願書—9月1日~11月6日(願書必着日)
電子願書—9月1日~11月15日(//)

実施級/受験料 1級—4,500円
2級—4,000円
3級—3,000円

情報デザイン試験

CBT方式のみ

詳細はJ検HPを参照下さい。

実施級/受験料 初級—4,000円
上級—4,500円

情報システム試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)
平成29年度前期

システムエンジニア認定
プログラマ認定

試験日 平成29年9月10日(日)

出願期間 手書願書—6月1日~7月21日(願書必着日)
電子願書—6月1日~7月27日(//)

実施級/受験料 基本スキル—3,500円
システムデザインスキル—3,000円
プログラミングスキル—3,000円

情報検定全科目でCBT方式がご利用いただけます!

*パソコン画面で受験できる試験方式です。

従来のペーパー方式に加え、CBT(Computer Based Testing)方式でも実施いたします。

*個人受験をご希望の方はCBT方式をご利用ください。

◇各試験で随時受付中です。

◇受験料はペーパー方式と同一料金です。

◇自由に試験日が設定でき、合格結果もその場で分かります。

J検CBT無料体験版でお試しいただけます。(ホームページよりご利用ください。)

◇「併願受験」をサポートするプランも実施中です。

不合格、または欠席となった科目は1年間合格するまで何度でも受験できます。

(団体のみ対象。登録資格はwebにてご確認ください。)



文部科学省後援

ビジネス能力検定ジョブパス

(<http://bken.sgec.or.jp/>)

2015年10月から従来のペーパー方式(全国一斉)に加えて

新たに2級、3級にもCBT方式を導入しました。(1級はCBT方式のみ)

(検定試験の最新情報は、B検ホームページにてご確認ください)

1級(2017年度前期)

■前期試験/平成29年9月9日(土)~

9月17日(日)

(上記期間内から選択可。ただし会場設営状況による。詳細はホームページをご覧ください)

■出願期間/団体受験:7月3日(月)~

試験日の2週間前まで

/個人受験:7月3日(月)~

試験日の3週間前まで

■実施級・受験料/1級(8,500円)

(2級合格者が所定の期間に受験する場合5,500円※但し、1回のみ)

【想定受験者と評価内容】

●就職活動を展開中の大学生・専門学校生等から入社1年目から3年目程度の社会人。●2級の知識、技法を前提とし、問題解決を円滑に推進するために必要となる論理的な思考、情報発信と表現技法、および基礎的なマネジメント技法を実践的に評価する。

2級・3級(2017年度後期)[ペーパー方式]

■後期試験/平成29年12月3日(日)

■出願期間/9月1日(金)~10月20日(金)

■実施級・受験料/2級(4,200円)

3級(3,000円)

【想定受験者と評価内容】

2級●就職活動のスタートを間近に捉えた大学生、専門学校生等から社会人1、2年目程度。●3級の知識を前提とし、企業の役割や責任と権限などを理解するとともに、効率的な業務の進め方、問題解決のための基本的なコミュニケーション、情報活用の技法を評価する。

3級●就職活動を視野に捉えた、高校3年生、大学生・専門学校生等●入学者自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を評価する。

文部科学省認可 学生・生徒24時間共済

組合認可番号：27 受文科総第1713号
共済認可番号：27 受文科総第1714号
共済認可番号：28 受文科総第1718号

～卒業までの安心を全ての学生・生徒に提供したい～

学生・生徒24時間共済の特長

- ◇補償は毎年4月1日開始！
掛け金の振込は4月15日まで！
- ◇暫定人数での契約が可能！
概算契約・確定精算方式を採用！
- ◇名簿の提出不要！
契約時の手続きを大幅に簡略化！
- ◇低いコストで手厚い補償を提供！
共済制度は低コストでの運営が可能である為
民間の保険会社より安い掛け金で手厚い補償を提供
1名あたり年間平均共済掛金：6,500円(100～499名)
- ◇剰余金の割戻
共済事業から発生する剰余金がある場合
組合員である学校に「剰余金の一部」を還元
することが可能
2016年度 剰余金割戻率：7.1%

右記の基本プランの他、医療福祉分野プランなど複数プランがございます。

学生・生徒が病院等の臨床実習先で感染症に罹災したことによる治療費、検査/予防費を補償します。

学生・生徒24時間共済補償【基本】



キャリア教育共済協同組合
Mutual Aid Cooperatives Career Education

お問い合わせ先
フリーダイヤル 0120-014-888

本部事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2-25 (全国専修学校各種学校総連合会/一般財団法人職業教育・キャリア教育財団事務所内)
大阪事務局 〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町9丁目1-22

専修学校・各種学校の保険ご担当者さま

学生・生徒・学校のリスクをカバーします!!

こんな事で
お悩みではありませんか？



- ☑ 学校で生徒が事故にあったら大変..
- ☑ 学生がインターシップ先でトラブルを起こしてしまったら.....
- ☑ 自転車通学中の事故が多いと聞くけど..

もしものときに手厚く補償。
安価な保険料で、安心の学校生活・学校運営を!

Point 1

「専修学校・各種学校の実情を熟知した財団が監修」
安い保険料で、広く大勢の学生のリスクをカバーしています。

Point 2

「学生・生徒のために」
企業での就業体験としてのインターシップが増え、それに伴い機械の誤作動によるケガや、機材の破損などに対する賠償責任事例も増加しています。本保険はインターシップ中のトラブルにも対応しています。また、医療現場でのケガやトラブルにも対応しています。

Point 3

「学校のために」
学校教育活動全般を補償するのはもちろん、個人情報の初への流出など、社会的な打撃が大きい情報漏れにも対応しています。(リケガ-対応可)

NEW!

平成29年度から、「留学生補償保険」が追加となりました。学校に在籍しているケガや病気、賠償事故等による万が一に備える保険です。

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団が
つくった、専修学校・各種学校のための保険です。
そのため、キメの細かさにも自信があります。

加入校は約 **1,570** 校
加入者は約 **22** 万人 (平成27年度)

さらに
学校単位の加入で、
申し込みも簡単!

ご希望の多い保険の組合せ例
学生・生徒
災害傷害保険 + インターシップ
活動賠償責任保険

<取扱代理店> 株式会社 第一成和事務所
東京都中央区日本橋久松町11番6号 日本橋TSビル8階

お問合せ先 TEL.03-3669-2831

引受保険会社(特委)



東京海上日動火災保険株式会社



三井住友海上



損保ジャパン日本興亜

(担当課) 公務系2部文教公務系 東京都千代田区三番町6-4 電話124-3515-4133

インターンシップ活動賠償責任保険、個人情報漏えい保険、ワーカーリスク保障につきましては、東京海上日動火災保険の取り扱いとなりません。

学生・生徒が専修学校、各種学校(専修学校)に在籍する期間(にども専修学校)に、専修学校で発生する賠償責任(学校賠償責任)に付する補償は、東京海上日動火災保険株式会社が提供いたします。この保険は、専修学校に在籍する学生・生徒が、専修学校で発生した賠償責任(専修学校賠償責任)に付する補償は、東京海上日動火災保険株式会社が提供いたします。この保険は、専修学校に在籍する学生・生徒が、専修学校で発生した賠償責任(専修学校賠償責任)に付する補償は、東京海上日動火災保険株式会社が提供いたします。この保険は、専修学校に在籍する学生・生徒が、専修学校で発生した賠償責任(専修学校賠償責任)に付する補償は、東京海上日動火災保険株式会社が提供いたします。